

平成27年7月5日（日）関西医療学園専門学校5階大ホールにて、関西医療学園専門学校校友会 東洋医療部会・関西医療大学校友会 鍼灸部会による合同学術研修会が開催されました。



小児はり治療の第一線で活躍されている先生の講演とあって、170名を超える校友の先生に参加いただき、「小児はり効果と治療 アトピー性皮膚炎」と題し、まり鍼灸院の院長である中村真理先生にご講演いただきました。

小児はりの治療効果データを基にした、「夜泣き・かん虫・アレルギー」の3大症状の治療の説明の後、全ての症状で何らかの改善結果を確認できていること、また保

護者を対象とした治療に対する満足度も大変満足しているが90%以上で悪い評価は無いという結果でした。

小児鍼のポイントにつきましては、眉間・額・腹部・背部・下肢・上肢の診察ポイントと実際の治療方法、証別の症状や配穴を詳しく解説いただき、明日からすぐにでも使える内容でした。

『腕の湿疹薄くなってきました』とか『青かった眉間が普通の肌色になりましたね』と言葉を交わし、必ず保護者と治療前・治療後・効果などの診療のチェックポイントを保護者の方と確認しながら治療を進めていく。この確認が保護者との信頼関係を築き、その信頼関係が子供さんに伝わり治療の継続に繋がるものであることを学びました。



今回は中村先生が実際に治療している5名のかわいい患者様に来校して頂きアトピー性皮膚炎の小児はり治療実技を披露していただきました。てい鍼・大師流小児鍼・お灸などを用い、手際良く施術されて湿疹が薄くなる・赤みがひくなどの治療効果も確認することが出来ました。

また、子供たちを喜ばせる演出（施術後、クジを引くことができる）や保護者の皆さんも交えての和気あいあいとした治療などまるで「家庭の中で施術を行っている」雰囲気を見ることができ大変参考になりました。